

# 会 議 の 状 況

資料 5

令和 6 年度第 4 回青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議評価委員会

1. 日 時 令和 7 年 2 月 4 日（火） 13:30～14:45

2. 場 所 ウェディングプラザアラスカ 4 階 ダイヤモンドの間

3. 出席委員 12 名

## 4. 提出資料

資 料 1 原子力施設環境放射線調査報告書(案)(令和 6 年度第 2 四半期報)

資 料 2 原子力施設環境放射線調査報告書データ集(案)(令和 6 年度第 2 四半期報)

資 料 3 東通原子力発電所温排水影響調査結果報告書(案)令和 6 年度(第 2 四半期報)

資 料 4 会議の状況

参考資料 1 原子燃料サイクル事業の現在の状況について

参考資料 2 東通原子力発電所の現在の状況について

参考資料 3 リサイクル燃料備蓄センターの現在の状況について

## 5. 概 要

### (1) 議事

#### 1) 原子力施設環境放射線調査結果について（令和 6 年度第 2 四半期）

##### ア 原子燃料サイクル施設

県及び日本原燃(株)から資料 1 により説明があり、次のとおり評価された。

- ・原子燃料サイクル施設に係る令和 6 年度第 2 四半期の環境放射線等調査結果は、これまでと同じ水準であった。原子燃料サイクル施設からの影響は認められなかった。

##### イ 東通原子力発電所

県及び東北電力(株)から資料 1 により説明があり、次のとおり評価された。

- ・東通原子力発電所に係る令和 6 年度第 2 四半期の環境放射線調査結果は、これまでと同じ水準であった。東通原子力発電所からの影響は認められなかった。

##### ウ リサイクル燃料備蓄センター

県及びリサイクル燃料貯蔵(株)から資料 1 により説明があり、次のとおり評価された。

- ・リサイクル燃料備蓄センターに係る令和 6 年度第 2 四半期の環境放射線調査結果は、これまでと同じ水準であった。リサイクル燃料備蓄センターからの影響は認められなかった。

委員から、原子燃料サイクル施設に係るモニタリングに関し、適切な状態で採取できなかったとして欠測とした県実施分の牧草（第 3 団地）について、欠測の理由をより具体的に報告書に記載すべきではないかとの意見があり、県から、当該箇所の記載について検討し、修正案を諮った上で報告書に反映させる旨回答した。

また委員から、原子燃料サイクル施設に係るモニタリングに関し、ウラン濃度が平常の変動幅を上回った日本原燃(株)実施分の河川水(二又川)について、電気伝導率が高くなり、溶存物質も多くなるような特定の事象があったのかという質問があり、日本原燃(株)から、水量が少ない時は相対的に濃度が高くなる傾向は確認しているが、それ以外の上昇理由は現時点で判明していない旨の回答があった。

2) 東通原子力発電所温排水影響調査結果について(令和6年度第2四半期)

水産総合研究所から資料3により説明があり、今後も引き続き調査を継続し、データの収集に努めていくこととした。

(2) その他

1) 原子燃料サイクル事業の現在の状況

日本原燃(株)から参考資料1により新規規制基準への対応状況、各事業の運転状況等について説明があった他、トラブル等一覧について説明があった。

2) 東通原子力発電所の現在の状況

東北電力(株)から参考資料2により東通原子力発電所の運転状況、新規規制基準適合性審査の状況について説明があった。

3) リサイクル燃料備蓄センターの現在の状況

リサイクル燃料貯蔵(株)から参考資料3により使用済燃料の受入れ量及び累計在庫量、事業に係る許認可・届出内容について説明があった。

委員から、参考資料1の日本原燃(株)トラブル一覧に、トラブル発生前の点検結果(いつ点検を行い、異常がないことを確認しているか)を記載したほうが良いのではないかとの意見があり、日本原燃(株)から、記載について検討する旨回答があった。

また委員から、参考資料1の日本原燃(株)の排風機に係るトラブルの記載について、トラブルが発生した排風機の系統名(A系統、B系統)を明記したほうが事象が理解しやすいとの意見があり、日本原燃(株)から、記載について検討する旨回答があった。